

令和３年度 介護保険施設における事故報告

施設名	死亡	誤嚥	転倒				転落		接触		薬に関する事故			離設	交通事故	原因不明			その他			合計
			骨折	裂傷	打撲	脳内出血	骨折	打撲	裂傷	打撲	誤薬	重複	飲み忘れ			骨折	打撲	裂傷	自己抜管	集団感染	火傷	
介護老人福祉施設	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	12
介護老人保健施設	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	7
認知症対応型共同生活介護	0	0	3	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10
（看護）小規模多機能型居宅介護	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	8
短期入所生活介護	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
通所型介護サービス	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
有料・サ高住	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
介護予防通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
合計	1	1	20	2	2	0	3	3	0	0	2	1	0	1	0	16	1	0	0	0	0	53

【施設種別ごとの傾向】

地域医密着型介護老人福祉施設入所者生活介護において死亡事故が発生した（誤嚥による窒息死）
介護老人福祉施設内での事故が一番多く、事故総数12件のうち10件が骨折による事故となっている
認知症対応型共同生活介護において薬に関する事故が2件発生しているが、そのうち1件は前年度と同じ施設で発生している

【事故種別ごとの傾向】

転倒による骨折が20件、転落による骨折が3件、原因不明の骨折事故も16件となっており、骨折事故の合計は39件と非常に多い（全体の74%）
薬に関する事故1件は、別の利用者の薬を誤って飲ませるといった職員の確認不足から発生しているが、前年度にも同様の事故が発生している

【その他】

昨年度に比べて総事故件数が大幅に減少している（昨年度91件→今年度53件）
前年度と同じ施設で薬に関する事故が発生したが、前年度の再発防止策が機能しなかった
事故発生から報告まで1か月以上経過していた事業所があった
事故報告の認識誤りによる報告遅延があった（口頭指導済み）